



し せき い せき

史跡カリンバ遺跡へ タイムスリップ

えにわかんこうりょうかい
恵庭観光協会
キャラクター
かりんちゃん

い せき す うらしめ くし せいれい
カリンバ遺跡に住む漆塗り櫛の精霊
フクロウ博士



この本で使われる言葉

時代区分

旧石器時代

石を打ち欠いた石器を使用し、食べものを手に入れるため移動して生活。今から30,000～14,000年前で、かなり寒かった。

縄文時代

表面に縄のあとをつけた土器を使用し、地面に穴を掘った竪穴住居で生活。今から14,000～2,400年前。

弥生時代

大陸や朝鮮半島のえいきょうを受け、米作りを行い、金属器を使用した本州の文化。今から2,400～1,700年前。

続縄文時代

北海道では縄文時代の後も同様に、ドングリを採り、サケ漁などを行うくらしが続いた。今から2,400～1,300年前。

擦文時代

ハケでこすったような模様の土器を使用。石器の代わりに鉄器を使い、地面に四角い穴を掘ったカマドのある竪穴住居に住んだ。今から1,300～800年前。

アイヌ文化期

擦文文化が本州や北方のオホーツク文化などの影響を受けて生まれた。地面を掘り下げない平地住居に住んだ。今から800～150年前。

道具・その他

土器

粘土を焼いてつくった器。

石器

石を利用した道具。

金属器

鉄などの金属でできた道具。

土製品

粘土を焼いてつくったもの。土偶（お祈りに使った人形）や足形など。

漆製品

表面に漆（ウルシの木の樹液で、乾くと透明でひじょうに固くなる）をぬったもの。櫛や腕輪など。

布製品

植物を編んだり織ったりしたもの。

石棒

石を棒状にみがいたもので、お祈りに使った。

遺物

土器や石器など昔の人が使ったもの。

重要文化財

遺物のうち、特に重要なもの。

竪穴住居跡

地面に穴を掘り、柱を立てて屋根をかけた家の跡。

墓

遺体や遺骨を入れた場所。地面を掘っただけの墓を土坑墓という。

合そう墓

一つの墓に2人以上の遺体や遺骨を埋そうした墓

遺構

竪穴住居跡や墓などのように地中や地上に作られたもの。

遺跡

遺構や遺物が見つかる場所。

史跡

遺跡の中でも特に価値の高いもので、国が指定したもの。



まずは言葉を覚えないとネ！

ちょっとむずかしいなあ……



ねんぴょう 北海道の年表

| 北海道の時代区分 | | 年代 | 北海道の人の歴史 |
|----------|-------------|---|--|
| 旧石器 | | 30,000年前 | 北海道最古の石器（遠軽町や帯広市などの遺跡） 恵庭最古の石器（ユカンボシE10遺跡、戸磯） |
| 縄文 | 草創期 | 14,000年前 | 北海道最古の土器（帯広市大正3遺跡） |
| | 早期 | 9,000年前 | 恵庭最古の土器（恵庭公園遺跡、駒場町） 恵庭最古の竪穴住居跡（柏木川13遺跡、北柏木町） |
| | 前期 | 6,000年前 | 恵庭最古の漆製品（西島松3遺跡） 柏木B遺跡に大きなムラ |
| | 中期 | 5,000年前 | カリンバ1・カリンバ2遺跡（黄金地区）に道央部の中心的なムラ 島松沢8遺跡に大きな溝があるムラ |
| | 後期 | 4,000年前 | 柏木川4遺跡（柏木）に縄文最大級の布製品 柏木B遺跡に周堤墓（円形の穴の周りに土手をきずき、穴の底に墓をつくる集団墓地） 史跡カリンバ遺跡と西島松5遺跡に多くの漆製品が入った土坑墓 |
| | 晩期 | 3,000年前 | 柏木川4遺跡（柏木）に赤ちゃんの手形・足形付土製品 |
| | 続縄文 | 2,400年前 | 柏木B遺跡と茂漁6遺跡（柏木）に墓地 カリンバ2遺跡（黄金地区）に墓地 |
| オホーツク | 1,300年前 | 西島松5遺跡とユカンボシE7遺跡（戸磯）に多くの金属器が入った墓地 柏木東遺跡に北海道式古墳（本州から伝わった円形の丘がある墓） | |
| 擦文 | | | |
| アイヌ文化期 | 800年前 | カリンバ1・カリンバ2遺跡など（黄金地区）に大きなムラ | |
| 近代・現代 | 150年前 現在 | 本州から多くの和人が北海道に移り住み始める | |



ティラノサウルスはどの時代？

この年表よりずっと古い、7,000万年前よ。

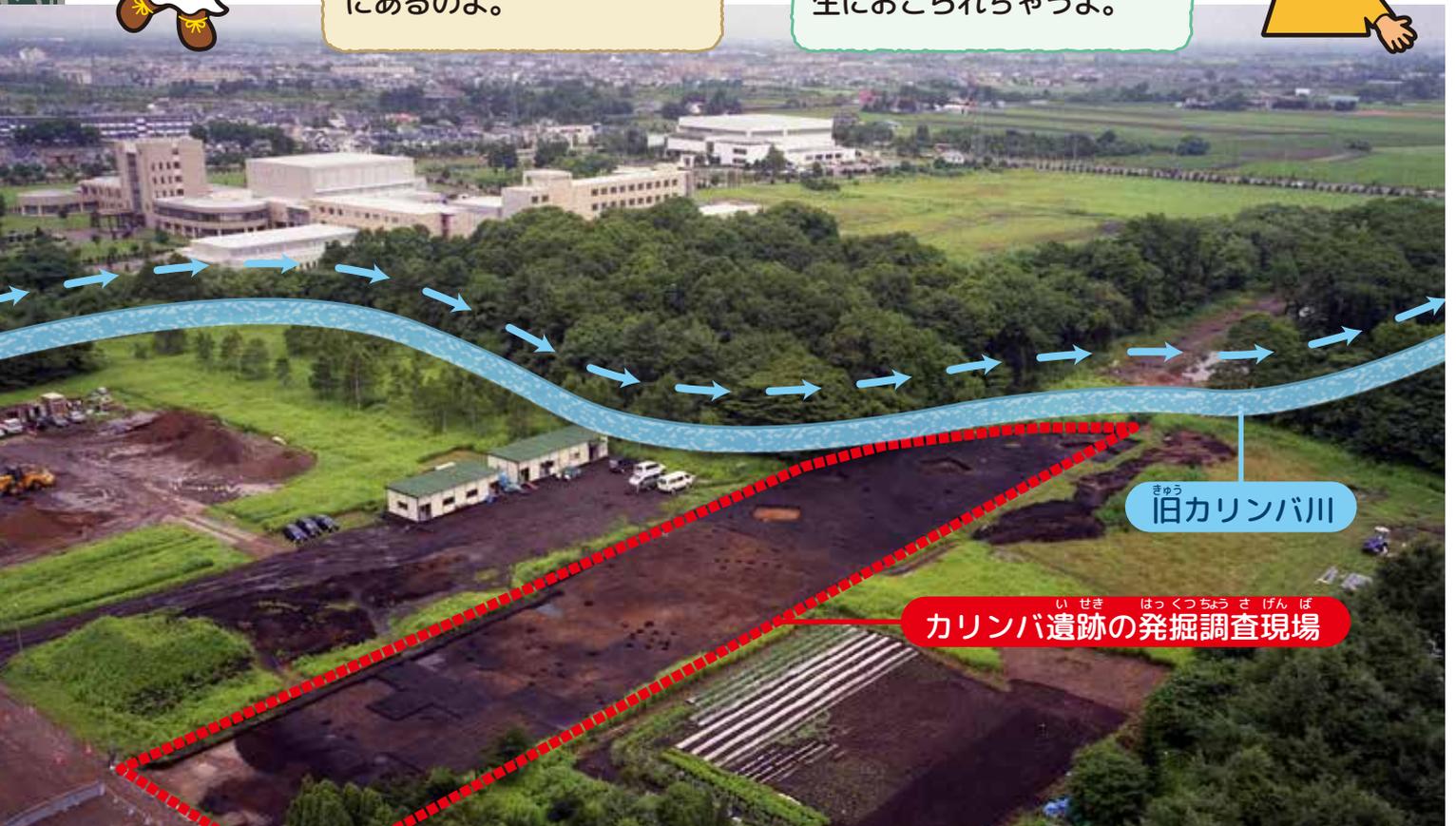


いせき カリンバ遺跡はどこにあるの？



ここは1999（平成11）年の
カリンバ遺跡よ。JR恵庭駅
と国道36号の間の黄金地区
にあるのよ。

1999年！ ボクはまだ生
まれてないよ。早くみんな
のところにもどらないと先
生におこられちゃうよ。



きゅう
旧カリンバ川

いせき はくつちよう さげん ば
カリンバ遺跡の発掘調査現場



あなたは私といっしょに
タイムスリップしたの。
でも1時間後には元の世界
に戻れるわ。それまで遺
跡を案内してあげる。



土の部分は道路をつくる前
に掘り下げて遺跡の発掘調
査をしたのよ。その近くに
昔はカリンバ川が流れてい
たの。カリンバの人たちは、
この川の水を飲み、サケや
マスをつかまえたのよ。

ホント？ よかった！
奥の白い建物は北海道文
教大学と総合体育館だね。
森の手前に土が細長く延び
ているよ。あと、昔はここ
に川が流れていたの？



▲ 今もわずかに残る旧カリンバ川の流れ



※ワシは3,000年前に作られた漆をぬった櫛じゃよ。カリンバ遺跡からは日本一多い57個の漆ぬり櫛が発見されておるのじゃ！



黄金地区は昭和時代には畑が広がっていたのじゃ。そこに家や道路をつくろうとしたのじゃが、旧カリンバ川とトウイソ川の間のカリンバ1～4遺跡の4つの遺跡が見つかったのじゃよ。そこで、平成になって土に埋まっている遺跡を掘り起こして調べる発掘調査をしたのじゃ。



カリンバ3遺跡は、1999年の発掘調査で、漆ぬりの櫛や腕輪がたくさん入ったお墓が見つかったのじゃ。こんなに豪華な縄文時代のお墓が発見されたのは全国でも初めてじゃった。そこで国はこの「カリンバ3遺跡」を史跡に指定し、その時に遺跡の名前も「カリンバ遺跡」に変えたのじゃよ。



カリンバはアイヌ語で「サクラの木の皮」という意味で、アイヌはサクラの木の皮をひもなどにさかんに利用したのじゃ。川沿いにサクラの木がたくさんあったことから、アイヌはこの川を『カリンバ』と呼んだのじゃろう。



◀カリンバ遺跡の発掘調査の様子

漆ぬりの櫛と耳飾り輪 ▶



カリンバの人たちはどんな道具を使っていたの？



わあ！ 縄文時代の人たちはいろいろな道具を使っていたんだね。

お店がないからすべて自分たちで作るのよ！

土器の粘土はがけや川の岸から取って来たものを使ったのよ。



ふかばちがたどき 深鉢形土器



はちがたどき 鉢形土器



いけいどき 異形土器



がたどき つぼ形土器



ちゅうこうがたどき 注口形土器



やがら 矢柄

せきそく 石鏃

石鏃と炭になった矢柄=弓矢の矢の束 (ユカンボシE11遺跡、和光町)



せきふ 石斧



赤ちゃんの手形・足形付土製品 (柏木川4遺跡、柏木町)



土器はバケツ、どんぶり、ワイングラス、つぼの形、やかんみたいな注ぎ口が付いたものもあるよ。いろいろな形があるんだね。



縄文時代の矢が恵庭で見つかっているんだね。赤ちゃんの手形と足形を付けた土製品は何に使ったの？

深鉢形や鉢形土器はふだんの煮炊きや入れ物に使うのよ。つぼや注ぎ口が付いた土器はお祭りやお葬式などに使ったの。



矢の束は4,600年前のもので、縄文時代の矢柄としては日本一保存状態がいいものなのよ。土製品は何に使ったのかはわからないけど、わが子を思う親の気持ち伝わってくるわね。





※ワシが赤いのは、漆の樹液を精製した透明な液体に赤い粉を混ぜて、木とひもから作った櫛にぬったからじゃよ！



土器は器の形にした粘土を乾かして焼いたものじゃ。粘土は焼くと縮んで割れやすいことから、砂や植物を混ぜるなどのくふうをしたんじゃよ。今の鍋や食器で、土器の表

面に縄を転がしたり押ししたりして模様を付けたことから縄文土器と呼ぶのじゃよ。土器の発明で、食べ物をたくわえたり、スープやシチューのような煮物も作れるようになったのじゃよ。



石鏃は遠くオホーツク海側の遠軽町や小樽市の南にある赤井川村などの黒曜石を恵庭に運んで作ったのじゃ。

木の枝から作った矢柄の先に黒曜石をとがらせた石鏃を付け、その矢を弓でシカやウサギなどに放ったのじゃよ。動物がかすり傷で

も死ぬように、石鏃にはトリカブトなどの毒をぬったことじゃろう。食べるときは、毒の付いた肉の部分をとりのぞいたんじゃ。



縄文時代の石斧は打ち欠いた石を砥石でみがいた磨製石斧が多く、木の柄にひもでしばり、木を切り倒すのに使ったのじゃ。また竪穴住居や墓をつくる時に地面を掘ったり、

土を耕やしたりするのにも使ったことじゃろう。石斧は日高地方や上川地方などから運んできた緑色岩の一種「アオトラ石」や片岩などの石を加工して作ったのじゃよ。



カリンバの人たちは何を食べていたの？



もの
食べ物はどうやって手に入
れたの？ スーパーはなかつ
たんでしょ！



どき は へん しょうど
土器の破片と火で赤くなった土 = 焼土

み さん さい と
木の实や山菜を採ったり、
つか
サケやマスを捕まえたり、
か
シカやウサギを狩ったのよ。



や すみ から
焼けて炭になったクルミの殻



しょうど や ほね
焼土から見つかった白く焼けたシカなどの骨



おと あな
シカなどの落とし穴



い せき
どうしてカリンバ遺跡の人
たちが食べていたものがわ
かるの？



？
シカはどうやって捕まえた
の？

りょう り つか
料理を作る時に火を使った
あと い せき
跡がカリンバ遺跡からも見
つかるわ。その赤く焼けた
まわ すみ しよく
土や周りから炭になった植
ぶつ たね から や
物の種や殻、焼けて白くな
ったシカのほね や サケの は
んかが見つかるのよ。



か
弓矢で狩ったのよ。そのほ
かにシカの通り道に落とし
とお お
穴を掘って、その上に木の
あな ほ
枝や草でふたをしたの。
あな お
シカが穴に気づかないで落
ちると、あし お
脚が折れたり、は
まっぺ うご
まて動けなくなるからそ
れをつか
れを捕まえたのよ。





※ワシは櫛じゃが、木で作られた櫛の歯には漆がぬられていなかったのじゃ。だから、歯の部分は3,000年たって腐ってなくなったのじゃ。



ミズナラの森



石狩市で見つかった
魚を捕る木のしかけ

(4,000年前、いしかり砂丘の風資料館提供)



オオウバユリ



おとし穴に
はまったシカ

 カリンバ遺跡に
は豊かな森が
あって、ミズナラやクルミ
の木、オオウバユリなどが
たくさんあったのじゃよ。
夏はオオウバユリの根から
でんぷんをとって団子にし
たのじゃよ。秋になるとド
ングリを拾って、地面に
掘った穴で保管したり、竪
穴住居の炉の上の棚におい
て、煙でくん製にして保存
食としたんじゃ。フキやキ
ノコなどの山菜ももちろん
食べていたのじゃ。



うるし
漆ぬり櫛

 動物はシカのほ
かにもウサギや
キツネなど何でも食べたの
じゃよ。冬の狩りは人も歩
きやすく、動物の足跡も雪
に残るんじゃ。木の葉や草
も枯れるから遠くの動物も
見やすいしう。本州では
イノシシも食べたようじゃ
が、北海道には今も昔もい
なかったんじゃよ。でも、ふ
しぎなことに北海道の遺跡
からイノシシの骨や歯が見
つかることがあり、なんと
カリンバ遺跡でも見つかっ
ているのじゃよ。本州から
イノシシを舟に乗せて運ん
できて、儀式に利用したと
考える人もいるのじゃ。

 旧カリンバ川には
秋になるとたく
さんのサケやマスが卵を産
みに戻ってくるから、木で
作った柵でせき止めて村人
みんなで捕まえたのじゃ。
サケやマスは内臓を取り、
炉の煙でくん製にして冬の
ために保存したのじゃよ。
ところが、カリンバ遺跡の
3,000年前の骨をしらべると
シカが多く、サケ・マス
はあまり見つからないの
じゃ。3,000年前のカリン
バの人たちは、サケ・マス
が捕れる時期には別の場所
に移動していた可能性も考
えられるのう。

す カリンバの人たちはどこに住んでいたの？



どんなところに住んでいたの？ お墓のそばかな？ それともぜんぜんちがうところ？

きゅう
旧カリンバ川の近くよ。
しめ
今は湿っているけれど
3,000年前はかわ
乾いていたの。



ちゅうけつ くいあな
柱穴や杭穴



しょうど
焼土

ちょうり ねつ や
調理の火の熱で赤く焼けた土



ちょうり ほかん ちよ けつ
ドングリなどを保管した貯ぞう穴

はしら くい う あな
柱を立てたり、杭を打ったりした穴



どうして3,000年前は地面が乾いていたってわかるの？



川の近くから家が見つかったの？

3,000年前の土に含まれている小さな植物の死がいを探ると、乾いた土地を好む植物が多かったことがわかったのよ。

その当時カリンバ川の近くは今のような湿地ではなく乾燥していたのよ。



はっきりとした家の跡は見つからなかったわ。でも柱や杭の穴、食べ物を保管した貯ぞう穴や火を使った跡に残る焼土が見つかったわ。低い川の近くに住んで、そこより2mほど高い平らな土地にお墓をつくったのよ。





※ワシが3,000年も生きられたのは、表面にぬられた漆がものすごく
じょうぶだからじゃよ。



たてあなじゅうきよ ふくげん
竪穴住居を復元した図



やね ふくげんじゅうきよ
屋根に土をかぶせた復元住居
とうやこ まよういく いんかいていまよう
(洞爺湖町教育委員会提供)



おおがたじゅうきよあと
長さ17mの大型住居跡
(カリンバ1遺跡、黄金地区)



ふくげん ちやうおおがたじゅうきよあと
復元された超大型住居跡
さんないまやま いせき
(青森県三内丸山遺跡)



3,000年前は今
より平均気温が
1～2度低かったのじゃ。

寒いと地球上の氷が増えて
海水面が下がるのじゃよ。
それで、今は湿っていると
ころも昔は乾いていたの
じゃろうな。



縄文人は地面を
掘って床にした
竪穴住居に住んでいたん
じゃ。柱を立てて、木や草
で屋根をつくったのじゃよ。

寒い地域では屋根に土をか
ぶせて、家の中を暖かくし
たのじゃ。



史跡カリンバ遺
跡のすぐそばに
あるカリンバ1・2遺跡で
は長さが10mを超える縄文
時代の大型住居跡が10軒以
上も見つかっているのじゃ。
なかでもカリンバ1遺跡の
4,500年前の竪穴住居跡は
長さが30m以上もある縄文
時代最大級の家で、当時の

恵庭が道央部の中心地だっ
たことを物語っているの
じゃ。3,000年前の恵庭で
はカリンバ遺跡だけではなく
西島松5遺跡でも漆を
ぬった櫛や腕輪などがたく
さん見つかっていて、その
数は全国で恵庭がいちばん
多いのじゃ。これは3,000年
より前の時代から恵庭が栄
えていたこととつながって
いるのじゃよ。

はか カリンバのお墓を見てもみよう！



これは5人が埋^{まい}そうされた
3,000年前の合^{がっ}そう墓^ぼ (123
号)よ。

5人も！ その人たちは家^か
族^{ぞく}だったの？ どうして5
人は死^しんじやったの？



？



大きな丸い穴^{あな}の底^{そこ}に赤い
ものがたくさんあるね。



一つのお墓^{はか}に5人も埋^うめら
れたんだね。でも、亡^なくなっ
た人たちの骨^{ほね}が見えないよ。

穴^{あな}の大きさは直径^{ちよっけい}1.6mも
あるのよ。赤いものは亡^な
くなった人が身^みにつけて
いた漆^{うるせい}製品^{ひん}よ。見^みつかった
歯^はや漆^{うるせい}製品^{ひん}の位置^ちなど
から、5人の墓^{はか}だとわか
るのよ。



恵庭^えの土地^{にわ}は恵庭^え岳^{だけ}や支^し
笏^{こつ}湖^こが噴^{ふん}火^かした火山^か灰^{ばい}な
どからできているのよ。
火山^か灰^{ざん}は酸^{さん}性^{せい}だから遺^い体^{たい}
は分^{ぶん}解^{かい}されて、土^{つち}に返^{かえ}
るのよ。でも、歯^はのエナメ
ル^{しつ}質^{しつ}だけは強^{つよ}いから残^{のこ}っ
ていたわ。





※ワシも太陽の光には弱く、紫外線に長く当たると分解されるんじゃないよ。あと、乾燥したところも苦手なんじゃよ。



ベンガラ

死者が生きかえることを願って、お墓にまかれた赤い粉



上は123号墓に埋そうされた当時の様子を推定した絵じゃよ。縄文時代は屈そうとって、亡くなった人を墓に入れる時に手と脚を折り曲げたのじゃ。中央の人は赤い漆ぬり帯を腰に巻き、周りの人は頭に漆ぬりの櫛をさしたり、髪を漆ぬりの輪でしばったりしているのがわかるじゃろ。緑の石や赤いコハクでできたネックレスをしている人もいたんじゃよ。



1999年の発掘調査で3,000年前の墓が36個も見つかったのじゃ。そのうち2人以上が一つのお墓に埋そうされた合そう墓が4個もあり、それぞれ2人(119号)、4人(118号)、5人(123号)、7人(30号)の墓と推定されているのじゃよ。残りの32個は1人用の墓(単そう墓)じゃった。合そう墓に埋そうされた人は特別な人で、単そう墓の人と比べて櫛や腕輪などの漆製品をた

くさん身につけていたのじゃ。中でも、合そう墓3個(118・119・123号)の中央部に埋そうされた人は腰に帯をしていたことから、中心的な人物じゃったと考えられるのう。



123号墓の漆ぬり櫛

カリンバの人たちはどんな服装をしていたの？



どうぶつ けがわ ふく
動物の毛皮で作った服を
き
着ていたのかな？
クマかな？ シカかな？

さあどうかしら。
これを見てもおどろかない
でね！



じょうもん じ だいさい だいきゅう めの いせき
縄文時代最大級の布（柏木川4遺跡、柏木町、
北海道立埋蔵文化財センター提供）

いせき ふく
カリンバ遺跡では服は見つかってないけ
ど、柏木町で3,200年前の織物が見つかっ
ているわ。織り方も特殊で、1枚の布の
お とくしゅ まい めの
中にいろいろな模様もよう ひょうげんが表現されているの
よ。特別な人が着た服の一部かもしれないわね。

うるし おび こし ま こうぼ
漆ぬりの帯を腰に巻いた人（123号墓A）

うるし くし ぶぶん こうぼ
漆ぬりの櫛などつけた頭部分（123号墓B）



顔や体は見えないけど、
123号墓Aの人は首に
ネックレスをかけて、腰
に漆をぬった帯をまいて
いた様子が想像できる
よ。



こうぼ
123号墓Bの人は頭にたくさんの
うるしせいひん
漆製品をつけて、ネックレスをし
ていたことがわかるね。

こうか うるしせいひん み
これだけ豪華な漆製品を身
につけていた人たちは、動
ぶつ けがわ めの
物の毛皮でなく布から作っ
た服を着ていたんじゃない
かしら。





※ワシは櫛と呼ばれておるが、団子にした髪にさしたアクセサリーであり、また地位や身分をあらわすものだったのじゃよ。



下は左のページの123号墓の写真から推定した埋そうされた人AとBの図じゃ。
 カリンバ遺跡では合そう墓3個(118・119・123号)から見つかった漆製品やネックレスなど397点が重要文化財に指定されているのじゃ。ちなみにわしも重要文化財なのじゃよ。

123号墓Aの人



123号墓Aのネックレス

123号墓Aの人は5人の中央に埋そうされていたのじゃ。赤い漆ぬり帯を腰にまき、石から作ったネックレスをしていたのじゃ。縄文時代の漆ぬりの帯は

全国でも4点しかないが、カリンバ遺跡で2点、西島松5遺跡で2点となんとすべて恵庭で見ついているのじゃ。3,000年前ごろは気温も低く、土偶や石棒など儀式に使う道具がさかんに作られたようじゃ。123号墓Aの人は、貴重な帯を身につけて墓の中央に埋そうされていることから、神の声を聞く巫女さんだったのかもしれないのう。

123号墓Bの人



123号墓Bの漆ぬり櫛

123号墓Bの人は中央の人の北側に埋そうされていたのじゃ。赤い漆ぬり櫛3個を髪にさし、ひたいには漆ぬりの輪を4個付けた布をまいていたのじゃよ。そのはちまきの

中央には南の人と品物を交換して手に入れたホホジロザメの歯を付けていたのじゃよ。サメは強く、またその歯はすぐ生え替わることから、縄文人は強さと再生のシンボルとしてサメの歯を好んで身につけたのじゃよ。耳には漆ぬりの輪を下げて、首にはネックレスをしていたのじゃ。123号墓Bの人は、Aの人の身の回りをお世話する人だったのかもしれないのう。

カリンバのなぞ



カリンバ遺跡にはまだわからないことがたくさんあるの。その中でもいちばんのなぞは「合そう墓に埋そうされた5人や7人ものがなぜ亡くなったのか」ということだわ。みんなもいっしょに考えてみてね。



伝せん病と地しんで一度にたくさんの方が死んじったとか。もしかしたら、ヒグマにおそわれたのかも。



一度に5人も7人も亡くなったのかしら。冬に亡くなった人を雪に埋めておいて、春に雪がとけてからお墓を掘っていっしょに埋そうしたんじゃないかしら。



ひと冬に5人も7人も死ぬのかな。だれかが死んでお墓をつくったけど、すぐには埋めなかったんだよ。そのあと死んだ人を一人ずつお墓に入れていて、穴が死体でいっぱいになったら埋めもどしたんだよ。



昔の中国の記ろくに、弥生時代の卑弥呼という女王の墓にはあの世で女王が困らないように奴れいを100人以上を埋めたと書かれているわ。カリンバでも巫女さんが亡くなったとき、お世話をする人もいっしょに埋められたんじゃないかしら。



直径1.6mの穴に5人も入るのかな。縄文時代にはお墓から掘り出した人骨を土器に入れて、また埋めたこともあったんだって。カリンバの合そう墓も昔のお墓から掘り出した人骨をまとめて一つのお墓に埋そうしたんじゃないかなあ。

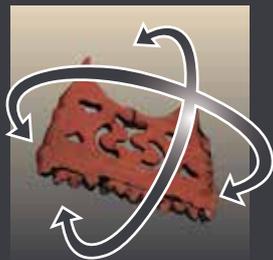
恵庭市郷土資料館

住所 ● 恵庭市南島松157-2
電話 ● 0123-37-1288
開館時間 ● 9:30 ~ 17:00
休館日 ● 毎週月曜日、祝日の翌日
資料整理日 (毎月最終金曜日)
年末年始 (12月28日 ~ 1月3日)

恵庭市立図書館 恵み野本館

住所 ● 恵庭市恵み野西5丁目10-2
電話 ● 0123-37-2181
開館時間 ● 火~金 10:00 ~ 20:00
土日祝 10:00 ~ 18:00
休館日 ● 毎週月曜日、特別図書整理期間
図書整理日 (毎月最終金曜日)
年末年始 (12月29日 ~ 1月3日)

カリンバ遺跡と恵庭市史料デジタルアーカイブ構築事業



恵庭市郷土資料館と恵庭市立図書館が所蔵する史跡カリンバ遺跡と恵庭市史料をデジタル化しました。パソコンなどのモバイル端末で恵庭市史料の検索閲覧やカリンバ遺跡漆塗り櫛などの3D画像閲覧が行えます。 URL <https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/0123115100/>



公益財団法人図書館振興財団提案型助成事業

「カリンバ遺跡と恵庭市史料デジタルアーカイブ構築事業記念」

史跡カリンバ遺跡ヘタイムスリップ 2018年3月発行 2021年2月PDF版作成
発行/ 恵庭市教育委員会 北海道恵庭市新町10番地